

2021年8月16日

放射線部で、過去にPET検査をされた患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 機械学習における多種類のPET薬剤を用いた教師データによる定量値への影響に関する後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 大石晃央 ・ 放射線部 診療放射線技師

[研究の目的]

PET/CT検査を受けられた患者さんの検査画像に対して、近年開発されている機械学習を用いた処理を行うことにより、今後の検査における画質の向上、投与放射性薬剤の低減、あるいは検査時間の短縮といった効果が期待できます。その機械学習を行うためのデータベースに、様々な種類の薬剤を使った検査画像を使用してよいかを調査することが本研究の目的です。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2020年4月1日から2021年3月31日の間に香川大学附属病院で¹⁸F-FDGおよび¹¹C-Methionin両方の中樞神経PET/CT検査を受けた患者さん。

利用する検体・診療情報

診療情報：診断名，年齢，性別，体重，血液データ（血糖値），検査結果（画像検査）

[外部への検体・診療情報の提供]

外部への検体・診療情報の提供はありません。

[研究組織]

香川大学単独の研究です。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院放射線部

担当技師 大石晃央

電話 087-898-5111(3900)